



知夫小中学校
Tel 08514-8-2015
Fax " 8-2312
〒684-0100
知夫村 1053-1
[HP] <https://www.chibumura.ed.jp/>

今年度を振り返って 校長 若本剛

今年度はコロナウイルス感染拡大防止のため、四月十三日より五月六日までの期間、臨時休校となりました。そして、学校が再開した後、様々な活動で制約を受けながら、手探りの状態で教育活動に取り組んできました。しかし、保護者・地域の方々の協力や、常に前向きに取り組む子ども達に支えられ、良い形で今年度を締めくくることができたと思います。

三学期の修了式の日には、『みんなが笑顔に』なるために頑張ってきた四つのことを、子ども達の写真で振り返りながら、次の様な話をしました。

①「自ら学ぶ」ためには、自分自身将来どんな自分になりたいかをしっかりと思い浮かべ、そうなるために、今何をすべきかを考えることが大切です。そして、今すべきことを誰にも負けないぐらい毎日続けましょう。凡事徹底です。皆さんの振り返りに、夢ややりたい自分を叶えるために取り組んだことがたくさん書かれています。これからも続けてください。

②「友だちを大切に」しながら、互いのよさを見つけてあげることが必要なのです。一年間を振り返った時、「自分の良いところは」と聞かれても、あまりたくさん挙げられないという人もいます。それは、どうやって自分のよさに気付くことができるのでしょうか。その一つは、目標を達成したり、困難を乗り越えたりすることで達成感や満足感を味わえるような経験をするのが大切だと思います。そして、もっと大切なのは、まわりの人や友だちから認められたり、褒められたりすることです。だから、「友だちを大切に」しながら、互いのよさを見つけてあげることが必要なのです。

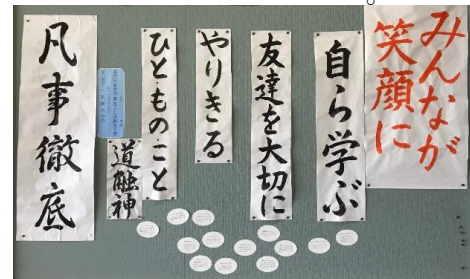
【学校教育目標】

未来を切り拓く
心豊かでたくましい
知夫の子どもを
育成する

【めざす子ども像】

- ・自ら学ぶ子ども
- ・共に生きる子ども
- ・たくましく
生きる子ども
- ・ふるさとを
愛する子ども

③「やりきる」ことで、次の課題が見つかり、力を出し惜しみして、その先にある自分の可能性に気づくことができ、小さな小さな自分も、自分が持っている力を全部出し切った、その先にある自分の可能性を見つけてください。



④地域の「ひと・もの・こと」を発見することが難しい一年でしたが、それぞれの学年が様々な工夫をしながら、地域のよさを発見し、わがこと（知夫）の良さとして発表することができました。これからは、地域のよさを発見し、ふるさと知夫を誇りに思う子どもになってほしいと思います。

最後に、明日から春休みとなります。交通安全や事故防止について学校でも指導しますが、ご家庭、地域での子ども達の見守りをお願いします。一年間の教育活動への多くのご支援ありがとうございました。



「優秀賞」受賞 ニッツ(NITS)大賞

平成三十年度より、知夫小中学校は「ふるさと教育（総合的な学習の時間）」の九年間の学びをより充実させようと、内容の見直しに取り組みしてきました。例えば、小学部と中学部が別々で実施してきた発表会を一緒にし、互いの取り組みや考えを共有できるようにしました。また、より村内に出かけて、人と交流したり地域行事に参加したりする機会をつくらうと、各地区の寄り合いに小学部児童が参加するようにし、遠足のコースを村内中心に組み直しました。そして、保護者や地域の皆さんに分かりやすい見直しとしては、中学部二年生と三年生の取り組みです。二年生には「知夫未来子ども議会」を創り、生徒が校長に直接、自身の描く理想の村について提案する機会を設けました。知夫小中学校最高学年である三年生は、村内の大人と一緒に地域課題を解決していく、実践型の学習を取り入れられました。

これらの取り組みも三年目を迎え、保護者・地域の皆様に少しずつ周知されてきたのではないかと考えた時、「取り組みにどのような価値があるのか」ということを確認してみたくなりました。そこで、応募したのが「ニッツ(NITS)大賞」です。※ニッツ大賞とは、「学校をとりまく課題の解決に向けて、学校で実践した取り組みを募集する事業」を、独立行政法人教職員支援機構(NITS)が実施しているものです。

この度知夫小中学校は、生活科と総合的な学習の時間における九年間の「ふるさと教育」の取り組みを、第四回（令和二年）ニッツ大賞に応募しました。第四回ニッツ大賞には全国の学校現場から二一六件の応募があり、知夫小中学校の取り組みは優秀賞十一点の一つに選ばれました。

応募作品名は「学びがつくる三方よし、社会に開かれた総合的な学習の時間」。学校と地域が一層になつて活動し、多くの場所・人に喜びや成果が生み出されている様子をまとめています。

苦労しながらこの形を創ってきましたが、受賞の知らせを受け、今後この取り組みを継続させ、この学習を通して児童・生徒を成長させていきたいと思います。

習は知夫村教育委員会の職員が、あつて成り立っています。改めて、そういった皆様への感謝の思いもあふれてきました。皆様の賛同を得ることができた取り組みを、今後も創っていくと思っております。

最後にになりましたが、受賞作品の詳細はインターネットで「ニッツ大賞」と検索すると見ることが出来ます。ぜひ、のぞいてみてください。

【地域連携担当】

学校評議員会実施（報告）

三月十五日、四名の学校評議員に本校に本校に、「学校評議員会」を開催しました。

二学期末に実施した、保護者・児童・生徒を対象とした学校評価の結果を公表し、それについてご意見をいただきました。いただいた意見（評）は次のとおりです。（学）は、学校の回答です。

【家庭学習について】

（評）特に中学部の生徒は、家庭学習の時間がもう少しあってもいいのではないかと。

（学）将来の展望を持たせることで、意欲を高めたい。また、教員の指導力向上もはかりたい。

【いじめについて】

（評）いじめ防止対策推進法ができて、学校の取り組みはどうか。

（学）積極的にいじめを認知し、学校が組織として把握し、必要に応じて指導し、解決につなげたい。

【ふるさと教育について】

（評）都会ではできないよい学習なので、今後ぜひ続けてほしい。

（学）評議員の皆さんからは、積極的に様々な意見を出していただきました。これらを参考に、学校の教育力向上をはかっていきます。

【担当】

お礼

一月、JAしまね知夫支店様より、調理室にセンサー付きガスコンロを四台寄贈していただきました。ありがとうございました。

人事異動のお知らせ

この度の人事異動により、左記の者が転任・辞職することになりました。在職中は大変お世話になりました。ありがとうございます。

教頭 藤田 宏 …… 隠岐の島町立都万中学校へ
高橋 英也 …… 隠岐の島町立西郷中学校へ
重谷 汐里 …… 辞職

小林 祐太 …… 雲南市立掛合中学校へ
安達虎矢太 …… 出雲市立斐川西中学校へ

教頭 道川 一史 …… 海士町立海士中学校へ
山下 則江 …… 海士町立福井小学校へ

協田 貴徳 …… 隠岐の島町立北小学校へ

転校生のお知らせ

この度、知夫小中学校を転出する児童を紹介いたします。新たな学校での活躍を願っています。

（小学部）一年 …… 六年